

## 日本体育大学フェスティバルで採用広報

自衛隊神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 市川直人2等空尉）は、11月1日（土）及び2日（日）に開催された「第58回日本体育大学フェスティバル2025」に参加した。

日本体育大学健志台キャンパス（横浜市青葉区）で行われたフェスティバルは、「日体大から体育・スポーツの魅力発信する」をコンセプトに、スポーツ企画、ステージ企画、模擬店など多彩な催しが行われた。市ヶ尾募集案内所は広報ブースを出展し、高機動車の展示を行うとともに、制服・迷彩服の試着体験や採用制度説明を実施した。

学生や来場者は、初めて見る高機動車に目を輝かせながら、「この車は何ですか」「カッコいい」「乗ってみたい」といった声を上げていた。また、制服・迷彩服の試着体験には多くの来場者が参加し、写真撮影を楽しむ姿も見られた。さらに、採用制度について広報官が丁寧に説明すると、真剣な表情で耳を傾ける来場者も多く、「自衛隊のイメージが変わった」「将来自衛隊の試験を受けたい」との感想も聞かれた。

市ヶ尾募集案内所は「今後も大学との連携を深め、広報活動を通じて自衛隊の魅力を発信し、入隊者の確保に努めていく」としている。



市ヶ尾募集案内所の広報ブース（高機動車展示と採用広報）

働く車コーナーでの集合写真

（自衛隊・警察・消防・海上保安庁）

## KDS交通安全フェスタに参加

自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 狩野圭2等陸尉）は、11月2日（日）、横浜市南区の神奈川ドライビングスクールで実施された「KDS交通安全フェスタ」に参加した。当日は同所の広報官2名に加え、陸上自衛隊座間駐屯地から1/2トトラック1両と隊員2名の支援を受け、広報ブースを展開した。

当日は天候にも恵まれ、約4,000人が来場した。警察、消防、企業、南区の商業団体など多くの団体が参加し、地域住民との連携を深める貴重な場となった。

来場者からは「高工校の制度を知らなかった」「自衛隊のイベントに参加してみたい」などの声が寄せられ、防衛省・自衛隊への理解を一層高めることができた。

横浜中央募集案内所は「今後も若年層への継続的なアプローチを重視し、自衛隊の認知向上と入隊者獲得に努めていく」としている。

